

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2021年8月) —失業率は4か月連続で低下し7.5%に

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

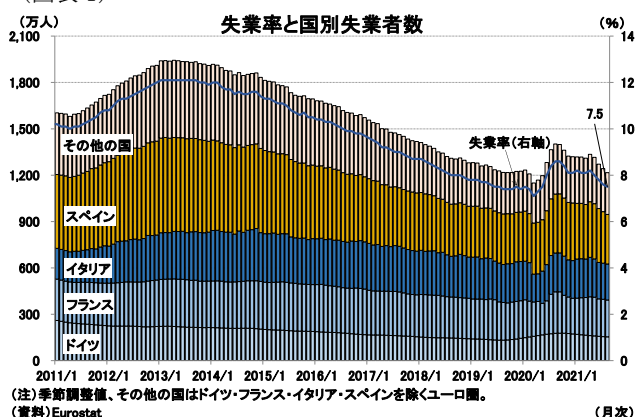
1. 結果の概要:失業率はさらに低下

9月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

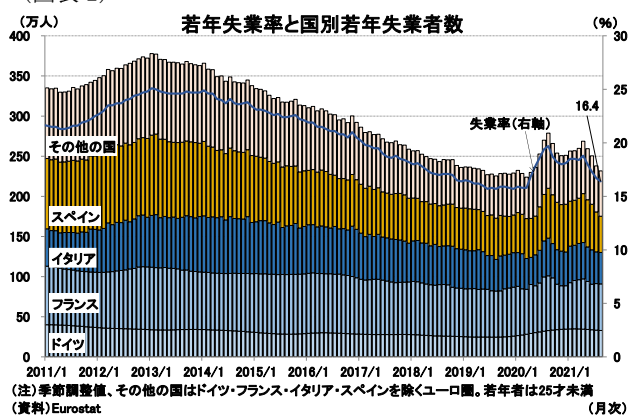
【ユーロ圏19か国失業率(2021年8月、季節調整値)】

- ・失業率は7.5%、市場予想¹(7.5%)と同じで、前月(7.6%)から改善した(図表1)
- ・失業者は1216.2万人となり、前月(1242.3万人)から26.1万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:雇用環境の改善は継続

ユーロ圏の8月の失業率は7.5%と前月の7.6%から低下した。また、前月までの改定値もほぼ変更がなかった。

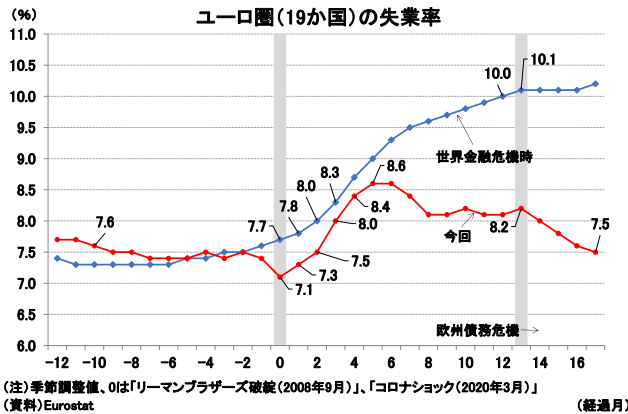
失業者数は8月の前月差で26.1万人減となり、減少幅は縮小傾向にあるが、4月以降の減少数は4か月合計で118.8万人と大幅に改善、失業者数の水準は2019年の水準(年平均1,242.4万人)より低くなっている(図表1・4)。失業率もほぼコロナ禍前の水準まで回復している。

8月の若年失業率は16.4%と前月(16.7%)から改善した。若年失業率の改定値は7月(改定前16.5→改定後16.7%)、6月(17.2→17.3%)、5月(17.9→18.0%)と足もとでは悪化方向に改定されているが改定幅は小幅で、8月の数値はコロナ禍後(20年4月以降)の最低値を更新している。

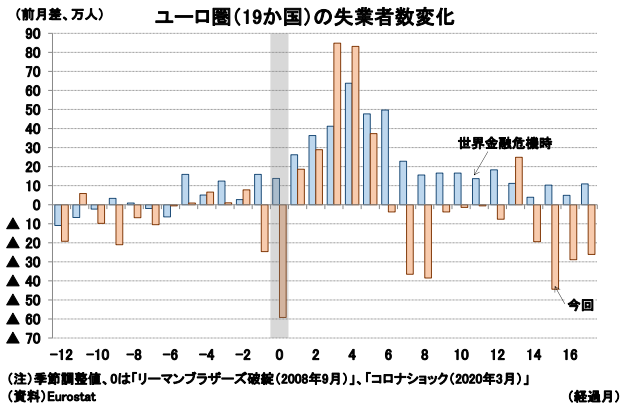
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

ただし、若年失業率をコロナ禍直前の水準と比較すると、まだ高めの状態にある（図表2）。

（図表3）

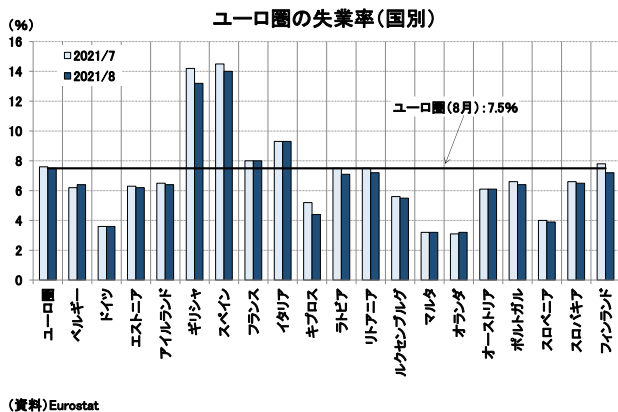


（図表4）

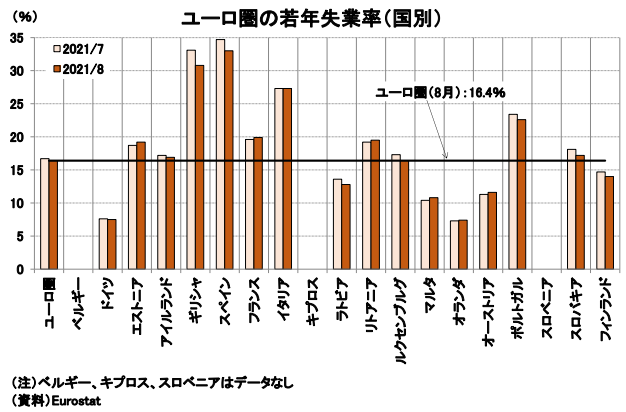


国別の8月のデータを見ると、19か国中悪化が2か国、改善が12か国、横ばいが5か国だった。また、若年失業率では公表されている16か国中悪化が6か国、改善が9か国、横ばいが1か国となった（図表5・6）。全体として見れば改善しているが、フランスなど若年失業率が悪化している国も一定数見られる。

（図表5）

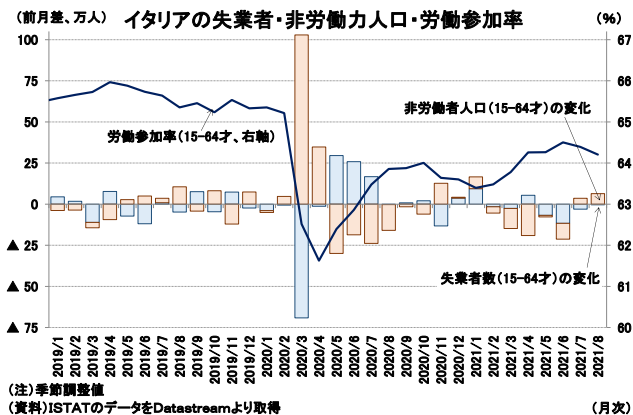


（図表6）

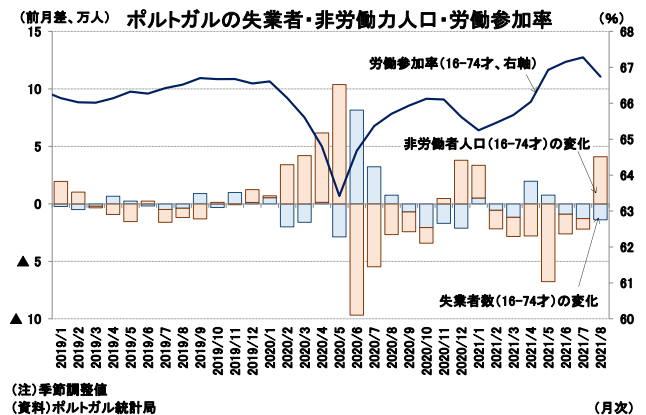


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリア・ポルトガルともに8月には失業者と就業者が減少する一方で、非労働力人口が増加している（図表7・8）。失業率はイタリア、ポルトガルともにコロナ禍前の水準まで低下、労働参加率はイタリアがコロナ禍前と比較してまだ低い一方で、ポルトガルではコロナ禍前の水準をやや上回っている。特にポルトガルにおいて雇用環境の改善が進んでいると見られる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。